



いしおか

5・1

No. 38



提供：石岡まちづくりアカデミーⅢ

主 な 内 容

- 予算特集 P2～P7
均衡ある発展と一体感の醸成を最優先に
平成19年度予算総額 501 億円
- 児童手当制度が拡充 P8
- ごみ減量化とリサイクル P9
- わたしのまちの、行政相談委員 P12
- まちづくり出前講座 P20・P21

さんろく 山麓の鯉のぼり

石岡市小見

小見から難台山^{なんだいさん}を望むと、山麓に鯉のぼりが泳いでいました。

皐月^{さつき}の空を、元気良く泳ぐ鯉のぼり・・・
5月の風物詩でもある鯉のぼりが、少子化の影響なのか、近ごろ見る機会が少なくなった気がします。

均衡ある発展と

一体感の醸成を最優先に

平成19年第1回石岡市定例会の初日、横田凱夫市長は市政運営の基本方針と主要施策の大綱など新年度の施政方針を述べました。これからのまちづくりの重点的な取組みの概要についてご紹介します。



まちづくりの方策

石岡市は、今、新たなまちづくりに向けた、効率的な行政運営に積極的に取り組んでいます。簡素で効率的な行政システムを確立し、経費の徹底した見直しと、自主財源の確保が急務です。

本市の財政は、収入面では、税制の改正や税源移譲によって市税の一定の増収が期待できるものの、地方交付税や地方譲与税が削減されて、自主財源の確保に努めなければならない状況です。支出面は、扶助費の増大はもとより、継続事業や合併特例債事業が予定されて

おり、今後も引き続き厳しい財政運営を強いられます。

今回、合併して2度目の本格的な予算編成となりました。ここ数年は財政構造が年々悪化し、予算編成は、基金の取り崩しなどで、ようやく財政収支の均衡を図るといった危機的な状況になっていました。したがって、最大の課題は行財政改革の適切な実行であると考えます。

このような状況を踏まえ、次の8つの基本政策を掲げ、その具体化を進めます。

明日を拓くまちへ

本市の潜在力を大きく開花させ、産業の振興や市民生活の向上を図るには、都市基盤の整備が必要条件となります。

まず、地域の意向を踏まえた均衡ある土地利用と地域資源の有効活用を図るため、都市計画マスタープランを策定します。道路の整備については、地域の基幹路線として次の事業の促進に努めます。

- ・国道6号千代田・石岡バイパス
- ・国道355号石岡・岩間バイパス
- ・広域幹線道路である県道石岡・つくば線
- ・県道飯岡・石岡線、県道石岡・筑西線
- （林地内）の各バイパス
- ・主要道路である県道石岡・城里線

合併特例債事業計画に位置づけられた道路整備は、県の支援制度を活用して早期完成を目指します。利便性の向上と地域経済の活性化を図るため、常磐自動車道に新たなインターチェンジの建設を目

指します。

市民の交通手段を確保するため、代替バス運行補助と乗合いタクシーの八郷地区への拡大を図り、新しい公共交通の確立を目指します。

本市の豊かな水と緑を保全するとともに、住民や来訪者が身近にふれあい安らげるよう、上池公園の再整備に向けて、市民参加のもと基本設計に入ります。

また、地域情報通信網の整備促進のため、地域情報計画の策定やロードバンド環境整備の支援を行います。

産業の輝くまちへ

本市の基幹産業である水田農業は、石岡市域の水田農業ビジョンの中で、産地づくり推進事業により農業者とその団体が自主的に生産調整を行う体制づくりを図ります。

商業の活性化については、新・中心市街地活性化基本計画を策定し、その活性化に向けた施策を展開します。

観光振興では、自然と歴史を融合させ観光客の誘客に向けた観光振興計画を策定します。つくば周辺地域の地域資源を結ぶ周遊ルートづくりと楽しく学べる体験・学習型の観光を進めるため、旧朝日小学校を利用した長期滞在型の体験・学習観光事業を進めます。

安全で安心して暮らせるまちへ

台風や集中豪雨による水害など、自然

災害に対する備えの重要性が増し、地域ぐるみの消防・防災体制の充実や救急体制の整備をより進め「安全で安心して暮らせるまち」を目指します。

防犯面では、「エンゼルパトロール」制度を引き続き推進し、街路灯の設置、防犯灯の設置助成にも努めます。

救急体制は、突然の心停止への対応として自動体外式除細動器（AED）を18年度からの3か年で市内施設20か所に設置します。防災対策では、有事の際の国民保護に係る内容を盛り込みながら、地域単位の防災訓練を実施します。

笑顔と元気のあるまちへ

近年は、心身ともに自立して健康に生きられる「健康寿命」が注目され、生活習慣病の予防やその早期発見・早期治療がますます大切になっています。

地域医療では、緊急診療所の運営や病院群輪番制を実施し、救急専門病床の施設整備を進め、体制の充実に努めます。

高齢者福祉では、介護保険制度の運用と、「できる限り介護状態にならないよう」に「その予防にも重点を置きます。

児童福祉は、重点的に進めたい施策の一つです。子供を産み、育てるなか、保護者の経済的、精神的負担や不安を軽減するため、次の事業を行います。

- ・ 不妊治療費の一部助成
- ・ 妊婦健診の回数を2回から5回へ増やす
- ・ 第3子以降の保育園児への支援

・ マル福医療制度の拡大（入院時の医療費の一部助成を中学生まで対象）

・ 児童手当の3歳未満児に対する増額

・ 放課後児童クラブの拡充

・ 病児・病後児保育の支援

今年11月に「ねんりんピック茨城2007」が開催され、当市はオリエンテリング交流大会の開催地です。大会の成功に向けて十分な準備を行います。

昨年4月に「障害者自立支援法」が施行され、10月から新サービス系へ移行します。新法に基づき、「自立支援給付」と「相談支援・コミュニケーション支援・日常生活用具給付等地域生活支援事業」を実施します。

人を育むまちへ

学校施設の整備・充実は、児童生徒数の減少による、小規模学校を解消するため、学校の適正規模、配置等の検討を受け、統廃合、耐震化優先度調査等に基づき、改築・改修等を計画的に行います。

学校給食センターでは、調理施設の整備を進め、学校と連携した食の指導や安全指導などを行います。特色ある学校教育では、多様な経歴をもつ社会人を講師に迎え、児童生徒の生きる力を育成するため、「学校いきいきプラン推進事業」に取り組みます。

放課後の小学校の施設を活用して、地域住民と子供たちが、勉強やスポーツ、文化活動を行う放課後子どもプランモデル

ル事業を実施します。

貴重な歴史資産を保護・保存し、多様な交流を育む資産として活用できるよう、歴史探訪ルートの設定や歴史資産の周辺環境整備を行います。

自然と調和するまちへ

自然環境の保全・共生については、行政・事業者・市民が一体となって自然環境の保全に努め、環境測定継続的な実施や、地域住民と連携した不法投棄対策を行っていきます。

美しい自然環境や数多くの歴史資源との調和を図るため、良好な景観の保全や、魅力ある都市景観創りに努めます。



協働で歩むまちへ

住民の自治意識が高まりを見せる中、自治会などを中心とした住民自治への積極的な対応が求められています。

そして、限られた財源で、効果的な施策や行政サービスを行うため、市民からの意見や要望を的確に把握し、反映させることが重要です。そのため、公募委員の拡充や公聴会の公開の推進、研究集会などの手法を活用します。

行政連絡員制度は、区長・協力員として統一されます。住民と行政を結ぶパイプ役とし、極めて重要な役目を担いますので、区長自治連合会に対する支援を行います。

効率的な行財政運営を 目指して

市民との信頼関係を築き、より良いまちづくりを進めていくため、広報紙やホームページの充実、市民との対話を引き続き推進します。

また、多様化・高度化する市民ニーズに対応するため、石岡市行財政改革大綱と集中改革プランや財政健全化プランなど一連の改革プログラムに積極的に取り組み、持続可能な財政運営体制づくりを図ります。さらに、職員数の削減により人件費を抑制し、石岡市定員適正化計画を着実に実行します。組織機構の再編を行い関連する課の統廃合によりスリム化を図ります。

以上が、私の平成19年度に臨む、市政運営のあらましです。新年度は、総合計画に基づく新たなまちづくりの本格的なスタートの年です。市民とともに「魅力あるまちづくりの実現」のため、全力で市政の推進に取り組みます。

※市長の施政方針全文は市公式ホームページの「行政情報」で見ることが出来ます。また、市役所秘書広聴課でも閲覧できます。

平成19年度予算

一般会計
特別会計
総額で **501億円**

予算編成にあたって

市の財政は、収入面で税の制度改正によって市税の増収が期待できるものの、国の三位一体の改革によって地方交付税などが減額することは避けられません。

支出面では、継続事業や合併特別債事業が予定されていて、その財源を確保するには、今後も引き続き厳しい財政状況が強いられます。このようなことから、平成19年度の予算編成にあたっては、事務事業の一元化をしっかりと進め「継続性の確保」と「新市の均衡ある発展と住民の一体感の醸成」を重点に、限られた財源を重古的かつ効果的に配分しました。不足する財源については、できる限り内部事務経費を圧縮し、経常経費を削減して、「主体的な改革行動と連動した予算づくり」を行いました。

少子化対策を強化

一般会計予算は、248億円で前年度と比べ6.9%の減、18億3500万円

の減少となっています。国民健康保険や介護保険等の特別会計を含めた全体の予算規模でも、501億8976万円と前年度より2.4%減少しています。

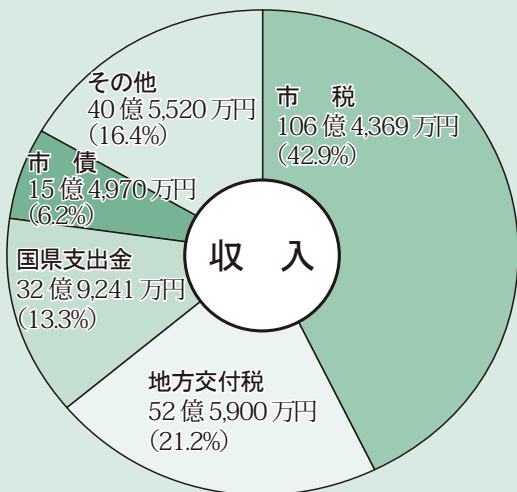
一般会計の主なものとしては、少子化対策を充実させるため、保育料の減免措置や児童手当の上乗せ措置、さらに医療費助成制度の拡大等児童福祉関係や不妊治療費補助金、妊婦健診委託事業の拡充など、保健衛生費が伸びています。減少の要因は職員人件費の削減や茨城県フラワーパークなどの指定管理者制度導入による委託料の削減、公共事業の縮減、特に前年度に実施した石岡給食センター改築事業などによるものです。特別会計では、前年度比6億2406万円の増となっていますが、主なものは、国民健康保険における保険財政安定化拠出金の増、農業集落排水事業の実施、介護保険等の事業費増によるものです。

将来の社会資本整備

収入面では、市税において税源移譲と、恒久減税の廃止に伴い、前年度比

一般会計の予算構成

- 市税…市民税や固定資産税などの税金
- 地方交付税…一定水準の行政サービスを提供できるように、国から交付される交付金
- 国県支出金…特定の事業に対する国や県からの補助金など
- 市債…国や銀行などからの借入金
- その他…使用料及び手数料、地方消費税交付金、分担金及び負担金、諸収入など



一般会計 248億円
特別会計 253億8976万円
合計 501億8976万円

単位：千円、%

| 会計別 | 平成19年度 予算額 A | 平成18年度 予算額 B | 増減額 (A-B) C | 増減率 C/B × 100 | |
|------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|-------|
| 一般会計 | 24,800,000 | 26,635,000 | △1,835,000 | △6.9 | |
| 特別会計 | 授産所 | 29,024 | 29,814 | △790 | △2.6 |
| | 国民健康保険 | 8,888,740 | 8,122,757 | 765,983 | 9.4 |
| | 簡易水道事業 | 21,570 | 21,785 | △215 | △1.0 |
| | 下水道事業 | 3,056,072 | 3,200,000 | △143,928 | △4.5 |
| | 駐車場 | 16,057 | 26,004 | △9,947 | △38.3 |
| | 老人保健 | 6,593,000 | 6,958,000 | △365,000 | △5.2 |
| | 石岡駅東土地区画整理事業 | 64,749 | 151,228 | △86,479 | △57.2 |
| | 農業集落排水事業 | 1,014,164 | 864,184 | 149,980 | 17.4 |
| | 公共用地先行取得事業 | 202,672 | 207,775 | △5,103 | △2.5 |
| | 霊園事業 | 36,990 | 36,714 | 276 | 0.8 |
| | 介護保険 | 4,301,931 | 3,925,427 | 376,504 | 9.6 |
| | 介護サービス事業 | 214,283 | 269,123 | △54,840 | △20.4 |
| | 水道事業 | 950,515 | 952,893 | △2,378 | △0.2 |
| | 特別会計計 | 25,389,767 | 24,765,704 | 624,063 | 2.5 |
| 総合計 | 50,189,767 | 51,400,704 | △1,210,937 | △2.4 | |

11・2%増の106億4369万円を見込んでいます。地方交付税は、前年度に比べて2.3%減の52億5900万円を計上しています。

市税と地方譲与税、地方交付税、臨時財政対策債などの主な一般財源の総額は、191億1675万円の前年度と比べ2億2202万円の減となります。

一般財源の減額を補うため、財政調整基金等からの繰入金も、前年度比13%減の6億3594万円を計上しています。市債については、幹線道路整備や市道・排水路整備事業、消防施設整備事業などの投資的経費に充てるため合計15億4970万円（前年度比46・6%の減）を計上しています。大幅に減額となっていますが、その大きな要因は、前年度の石岡給食センター改築事業債の減、そして臨時財政対策債・減税補てん債が減ったことによるものです。

（※）財政調整基金とは、年度間の財源の不均衡を調整するため、財源に余裕のある年度に積立てを行い、財源不足が生じる年度に活用するためのものです。



支出の性質別では、その支出が制度上決められている義務的経費の公債費が、最近の金利の動向から0.8%伸びているものの、行財政改革の推進による人件費と扶助費の減により、全体では前年度比0.8%の減となっています。

道路や保育所・学校といった将来の社会資本を整備する投資的経費は、次のとおりです。

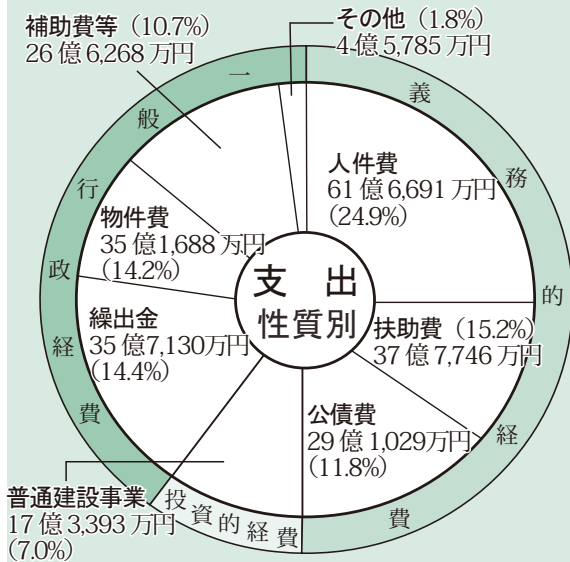
- ・ 保育所整備費補助金（6975万円）
- ・ 農道整備事業（1億2890万円）
- ・ 林道整備事業（7129万円）
- ・ 臨時地方道整備事業（3億7550万円）
- ・ 一般市道整備事業（3億3521万円）
- ・ 合併市町村幹線道路緊急整備支援事業（2億2000万円）など、合計で17億3393万円となっていますが、全体では前年度比47・4%の減となっています。主な要因としては、前年度の石岡給食センター改築費の減によるものです。

施設の管理運営や行政サービスなどに使われる一般行政経費では、ふれあい交流施設や茨城県フラワーパーク等の委託料が指定管理者制度の導入により、物件費で、2億4257万円の減、大規模な施設などが老朽化や更新期を迎えたため、その維持補修費として前年度比2.0%増の2億2808万円を計上しています。また、投資及び出資金では、湖北水道企業団が行う老朽管の布設替などの経費に充てるため、全体で4166万円となっています。

特別会計などへの繰出金は、介護保険特別会計が前年度と比べ8154万円増の7億1560万円となっています。この、国民健康保険特別会計や駅東土地区画整理事業特別会計が大きく減額し、全体でも0.2%の減となっています。

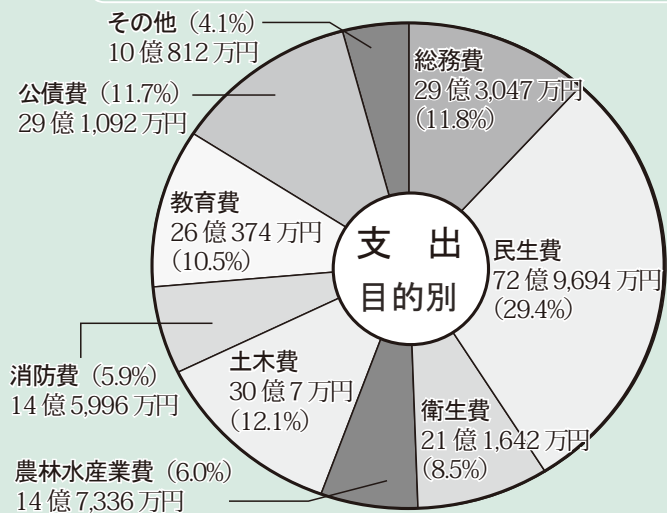
性質別に分けた支出

- 人件費…職員の給与、共済費などの経費
 - 扶助費…生活保護、児童扶養手当、老人福祉費などの経費
 - 公債費…借り入れた市債の返済にかかる元金及び利子
 - 普通建設事業…保育所、学校などの公共施設の建設、道路や公園等生活基盤の整備にかかる経費
 - 物件費…施設の維持管理や運営にかかる経費
 - 補助費等…団体運営や事業などに対する補助金や負担金
- ※予算額は万単位で表示しています。



目的別に分けた支出

- 総務費…市の組織全体の運営、徴税、選挙、統計などの経費
- 民生費…児童、高齢者、障害福祉や医療福祉、生活保護などの経費
- 衛生費…健康診査や予防接種、ごみの収集・処理等の経費
- 農林水産業費…農・林業の振興にかかる経費
- 土木費…道路や橋、公園などの整備や管理にかかる経費
- 消防費…火災や水害などから市民の皆さんを守るための経費
- 教育費…小・中学校の整備や生涯学習、スポーツ振興等の経費
- 公債費…公共施設整備のため、国などから借りたお金の返済に充てる経費



平成19年度の主な事業

明日を拓くまちへ
(都市基盤の整備)

● は新規事業

- 都市計画マスタープラン策定業務委託料 1012万円
- 石岡駅周辺整備事業 609万円
- 合併市町村幹線道路緊急整備支援事業 (上林・上曽線、仮称美野里・八郷線) 2億2072万円
- スマートインターチェンジ社会実験調査委託料 1750万円
- 臨時地方道整備事業9路線(赤瀬川左岸堤・北根本・碁石沢・東府中・下林・真家ほか) 3億7550万円
- 一般市道整備事業 2億5792万円
- 石岡市代替バス運行事業補助金 691万円
- 石岡市乗合いタクシー運行事業補助金 6000万円



市内全域で運行される乗合いタクシー

産業の輝くまちへ
(産業の振興)



整備が進む八郷中央地区農道

- 認定農業者連絡協議会補助金 57万円
- 畑地帯総合整備事業(三村・東成井) 4387万円
- 農地・水・環境保全向上対策事業交付金 392万円
- 産地づくり推進事業 1億2567万円
- 農道整備事業(小屋・永沼・上青柳・八郷中央地区・上根柴間・山又・金形地区) 1億7288万円
- グリーンツーリズム運営経費 1455万円
- 中心市街地活性化基本計画策定支援業務委託料 620万円
- 中小企業事業資金保証料補給金 4480万円

● 観光振興計画策定委託料 480万円

● つくばねしし鍋まつり補助金 36万円

● 獅子頭修繕工事 600万円

● ふれあいの森施設整備工事 440万円

安全で安心して暮らせるまちへ
(安全な地域づくり)

● 安全・安心まちづくり推進事業 258万円

● 街路灯・防犯灯事業 593万円

● 消防機械整備事業 1億2000万円

● 消火栓の整備事業 1540万円

● 防災訓練にかかる経費 153万円



本番さながらの防災訓練

笑顔と元気のあるまちへ
(保険・医療・福祉の充実)



いきがいデイサービスの様子

- 健康づくり事業 606万円
- 特定健診事業 7774万円
- 地域医療の充実
 - ・病院群輪番制運営費補助金 3111万円
 - ・病院群輪番制施設整備費補助金 2634万円
- 高齢者等支援事業 3494万円
- 在宅老人サービス事業 1301万円
- 地域密着型サービス拠点等施設整備費補助金 1500万円
- 後期高齢者医療経費 2188万円
- 児童手当経費 6億3600万円
- 病児・病後児保育事業 312万円
- 次世代育成支援対策事業補助金 3822万円
- 保育所整備費補助金 6975万円

人を育むまちへ

(教育・文化の充実)

● 教育用パソコン借上料(小・中学校)

4482万円



積極的な子育て支援策を推進

- 少子化対策による保育料軽減額(第3子以降の保育料減免と幼稚園児保護者への支援) 2541万円
- 不妊治療費補助金 150万円
- 妊婦・乳幼児健診委託料(健診回数を2回から5回へ) 2860万円
- 放課後児童対策事業(市内小学校15校で実施) 7181万円
- ねんりんピック茨城大会石岡市実行委員会交付金 898万円
- 障害者自立支援給付事業 4億6965万円

- 学校いきいきプラン推進事業(小・中学校) 1726万円
- 教育活動指導員配置事業 1453万円
- 学校教育支援事業 1732万円
- 語学指導事業 1486万円
- IT特別配置事業 2368万円
- 放課後子ども教室推進事業(モデル校吉生小学校) 82万円
- 幼稚園教育振興事業 8628万円
- 社会教育振興事業 1145万円
- 生涯学習推進事業 330万円
- 文化財保護保存及び発掘調査経費 4195万円
- 芸術・文化振興事業 386万円
- 国民文化祭開催事業経費 78万円



雨にもかかわらず元気にスタートする参加者

- 青少年育成事業 767万円
- 子供会育成事業 282万円
- 体育振興活動経費 1442万円
- スポーツイベント事業 547万円

自然と調和するまちへ
(環境共生・循環型社会の構築)

- 環境美化推進事業 546万円
- 霞ヶ浦浄化対策経費 3049万円
- 水の路クリーンナップ事業 462万円
- ごみ減量・資源化推進事業 858万円



恋瀬川探検隊の様子

協働で歩むまちへ
(住民と行政との協働)

- 区長自治連合会補助金 218万円
- 男女共同参画計画策定事業 110万円



男女共同参画講演会の様子

効率的な行政運営をめざして
(行政改革の推進)

- 行革推進経費 103万円
- 広報活動経費 1935万円
- 行政評価制度導入支援業務委託料 90万円
- 市民相談経費 275万円

※各事業の予算額は、万単位で表示しています。

- 男女共同参画推進事業 109万円
- ふれあい交流事業 729万円

児童手当制度が拡充されました

急速な少子化の進行を踏まえ、子育て世帯などの経済的負担を軽減するため、3歳未満児の養育者に対する児童手当の額を、第1子及び第2子について倍増し、出生順位にかかわらず、一律月1万円となりました。

なお、3歳以上の児童については、児童手当の額と支給対象年齢、所得制限限度額の変更はありません。

《0歳以上3歳未満の児童の養育者に対する児童手当については次のとおり》

| | |
|---------|--------------|
| 【現行】 | |
| 第1子、第2子 | 月額 5千円 |
| 第3子以降 | 月額 1万円 |
| 【改正後】 | |
| 第1子、第2子 | 月額 1万円 (倍増) |
| 第3子以降 | 月額 1万円 (変更無) |

《3歳以上については変更ありません》

※今回の改正では、受給者から手続きを行う必要はありません。なお、平成19年4月から、3歳未満の児童手当等の額は一律月額1万円となりますが、3歳到達後の翌月から第1子・第2子の手当額は5千円となります。

★児童手当の請求は、済んでいますか？

児童手当制度は、子育てにかかる費用の一部を支給することにより、養育者の生活を安定させ、生活の質が高まるよう支援する制度です。

ただし、養育者からの請求がないと支給されませんので、該当すると思われる方は、こども福祉課までお問い合わせください。

○支給対象年齢

12歳到達後の最初の3月31日までの間にある児童（小学校修了前の児童）
*ただし、所得制限限度額が設けられており、一定額を超えた場合は支給されません。

○支給額および支払月

| | |
|---------|-------|
| 3歳未満 | 月額1万円 |
| 3歳以上 | |
| 第1子・第2子 | 月額5千円 |
| 第3子 | 月額1万円 |

*原則として、毎年2月、6月、10月に、それぞれの前月分までが支給されます。

○所得制限限度額

所得制限限度額は、前年（1月から5月までの月分について前々年）の所得額で判定します。また、所得には一定の控除があります。具体的な所得制限限度額は次のとおりです。

☆平成19年度 所得制限限度額☆

(単位：万円)

| 扶養親族等の数 | 自営業者 (国民年金加入者) | サラリーマン (厚生年金等加入者) |
|---------|-------------------|----------------------|
| 0人 | 460.0 | 532.0 |
| 1人 | 498.0 | 570.0 |
| 2人 | 536.0 | 608.0 |
| 3人 | 574.0 | 646.0 |
| 4人 | 612.0 | 684.0 |
| 5人 | 650.0 | 722.0 |

◇注意事項

こども福祉課または総合支所市民窓口課（公務員の方は勤務先）にて、申請手続きをお願いします。
手当は、請求した日の翌月分から支給されます。

■問い合わせ こども福祉課

(内159・163)

★不妊治療費補助金のご案内

市では、不妊治療を受けた方に治療費の一部を補助しています。

◎対象 体外受精・顕微授精

◎補助内容 1年度あたり5万円を限度に、通算5年間補助します。

◎対象となる方(次のすべての要件に該当している方が対象です)

① 特定不妊治療を受けた夫婦で、夫または妻いずれかが市内に1年以上住所を有している方

② 特定不妊治療以外の治療法によっては、妊娠の見込みが極めて少ないと医師に診断された方

③ 茨城県不妊治療費補助事業による補助金の交付決定を受けている方

④ 夫及び妻の前年の所得の合計額が、730万円未満

⑤ 県が指定する医療機関において実施した治療であること

◎申請に必要な書類

① 不妊治療費補助金交付申請書

② 茨城県不妊治療費補助金交付決定通知書の写し

③ 医療機関発行の領収書の写し

④ 住民票謄本(概ね1か月以内)

■問い合わせ 石岡市 健康増進課

石岡保健センター ☎24・1386
八郷保健センター ☎43・6655

ごみ減量化とリサイクル

ごみ減量補助制度

のお知らせ

石岡市には、ごみ減量化に対して、次のような補助制度がありますので、ご利用ください。

◎生ごみ処理減量化補助金

生ごみ処理容器および電気式生ごみ処理機を購入した場合、予算の範囲内で、1基につき代金の3分の1（100円未満切捨て・上限額あり）の補助金が出ます。

※ただし1世帯あたり2基まで。

内容

☆生ごみ処理容器

上限額 3000円

☆電気式生ごみ処理機

上限額 10000円

〈申請時に必要なもの〉

1. 領収書
2. 印鑑

3. 金融機関口座（郵便局以外で、領収書に記載されている方の口座）

*購入したときは、当月中に申請をしてください。

◎資源ごみ回収事業補助金

子供会などの団体が、廃品回収を年2回以上行った場合、予算の範囲内で回収重量1kgあたり4円の補助金が出ます。

〈申請時期〉

9月中と2月中の年2回

※申請するためには、事前に登録が必要になります。

〈申請に必要なもの〉

1. 取引業者伝票
2. 団体の代表者印鑑
3. 団体または代表者の金融機関口座番号（郵便局以外）

牛乳パック拠点回収のお知らせ

石岡地区では、牛乳パックの拠点回収を行っています。ご協力をお願いします。

〈回収場所〉

- *市役所本庁舎 環境対策課
- *石岡市民会館
- *国府地区公民館
- *府中地区公民館
- *東地区公民館
- *城南地区公民館

〈出し方〉

- ①中身を空にし、水ですすいでください
- ②はさみで、切り開いてください
- ③乾かしてください

〈回収できないもの〉

*内側が銀色の紙パック（アルミコーティングされているもの）
*カビや汚れのある紙パックはご遠慮ください

* * *

ごみ集積所看板を配布します

ごみ集積所看板を次の各窓口で配布しています。看板を設置していない集積所は、ぜひご利用ください。

石岡地区

市役所本庁舎 環境対策課
(1階6番窓口)

八郷地区

八郷総合支所 総務課
(1階6番窓口)

※ごみ集積所の清掃・管理は、地域の皆さんによって行われています。

☆詳しくは、環境対策課 清掃担当までお問い合わせください。

■問い合わせ 市役所 環境対策課
☎23・1111 (内144・146)

◎卸業・小売業の皆さまへ 商業統計調査にご協力を！

6月1日現在で、平成19年商業統計調査が全国一斉に行われます。

商業統計調査は、全国の卸売・小売事業所を漏れなく調査して、我が国の流通産業構造や商業活動の実態を明らかにするために行われます。

調査結果は、国や都道府県・市区町村における商業の育成、中心市街地の活性化などの施策や計画を立案するための基礎資料として利用されます。

5月下旬、調査員が調査票の記入をお願いいたしますので、ご協力ください。記入後は調査員が収集にうかがいます。

☆なお、提出された調査票は、統計法により厳重に秘密が守られ、統計上の目的以外に使用することはありません。

■問い合わせ

市役所 企画課統計担当 (内222)

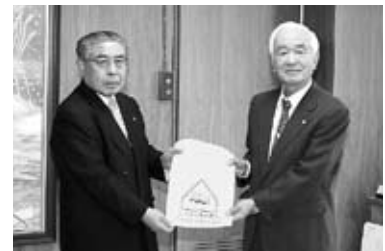


まちの 話題 できごと

交通事故に気をつけて！

3月27日、石岡地区交通安全協会（川村博会長）から、市内小学校の新生一年生に黄色い交通安全ランドセルカバーと保護者向けチラシが、新生二年生にはランドセル用反射材が寄贈されました。これは、児童を交通事故から守るため、贈られたものです。

ドライバークバーや地域の皆さん、黄色いランドセルカバーや反射材を見かけたら、やさしく見守ってくださいね。



黄色い帽子が寄贈されました

ひたち野農業協同組合（坂本馨組合長）と、やさと農業協同組合（田村和夫組合長）から、市内の小学校に入学する新生一年生に、交通安全の黄色い帽子が817個寄贈されました。

この黄色い帽子は「子どもたちが交通事故にあわずに元気に通学できるように」との願いを込めて、



▲田村組合長（左）より帽子が寄贈されました

毎年、新生に贈られています。

寄贈された帽子は、各学校の入学式の日に入生に手渡されます。これから、市内各地で黄色い帽子をかぶった新生一年生が大きなランドセルを背負って通学します。

ドライバークバーの皆さん、黄色い帽子を見かけたら、安全運転をお願いします！



▲坂本組合長（左）より帽子が寄贈されました

関川小学校創立50周年記念事業が開催されました！

昭和32年に、井関小学校と石川小学校の統合により、関川小学校が現在の場所に創設されました。それから50年、防音の校舎を新築し、運動場も拡張し、ドーム型のプールもできて、今の姿となりました。「花と緑の環境美化コンクール」では、今年度も「茨城県教育長賞」を受賞し、「花づくりは人づくり」の実践校として知られています。

創立50周年記念事業に当たっては、1年前から実行委員会を組織し、成功に向けて頑張ってきました。

そして、3月4日の当日は第1部で記念式典が行われ、大勢の招待者と保護者を迎えて、50周年を祝う式典が盛大に行われました。

その中で、全児童64人が心を一つにして発表した呼びかけや合唱「八木節」が、会場にいた人々に感動を与えました。最後には、昭和44年に制定された「校歌」を全員で歌い、式典が終わりました。

第2部では関川小に以前勤務されていた平田壽一先生の制作による「希望の像」の除幕式を行いました。

第3部では茨城県警察音楽隊による演奏会が開かれ、会場が一体となって、楽しい一時を過ごしました。



▲記念碑「希望の像」除幕式

中央図書館、ひまわりの館にAEDを設置

▲ひまわりの館



▲中央図書館

3月23日、石岡市ライオンズクラブ（佐野純治会長）では、結成40周年記念事業の一環として、AED（自動体外式除細動器）2セットを石岡市に寄贈し、ひまわりの館・中央図書館に設置されました。

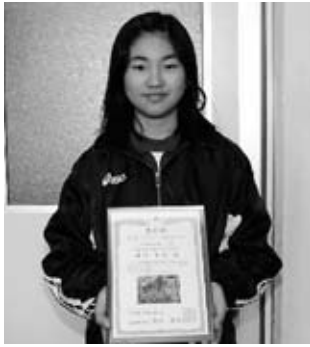
早期の除細動が実現すれば、突然の心停止からの救命率が向上すると期待されています。

入賞おめでとう ございます！

葦穂小の櫻井さん
クミアイプロパン絵のコンク
ールで入賞

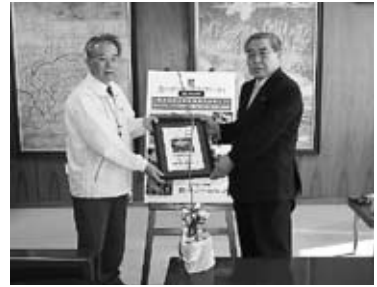
葦穂小6年(受賞時5年)の
櫻井歩美さんが、全国農業協同
組合連合会主催の第22回クミア
イプロパン絵のコンクール高学
年の部で二席に入賞しました。
櫻井さんは、夏になると家族
でバーベキューを楽しむそうで
す。この絵は、その時のことを
ヒントにして描いたとのことだ
す。

*葦穂小学校からお寄せいただいた結果
のみを掲載しています。



▶コンクールに入賞した
櫻井 歩美さん

大事に育ててね



▲市長に目録を渡す成島園長

茨城県フラワーパークでは、
地域づくりに貢献しようと花
いっばいのまちづくりプロジェ
クトを立ち上げ、その一環とし
て、市内の小学校卒業生854
名に卒業記念としてアメリカ原
産バラ科の植物ジュンベリー
の苗木をプレゼントしました。
3月13日に成島園長が市役所
で横田市長に目録を手渡しまし
た。

苗木は、フラワーパーク内に
ある30本のジュンベリーの木
から、職員が種子を取り育てた
もの。4月上旬には白い花が咲
き、6月には赤い実を結び、ジャ
ムなどに加工できるそうです。
プレゼントは、今後も引き続
き行われる予定で、サクラのあ
と白いジュンベリーの花が市
内を彩る日が楽しみです。

石岡の空を満喫

3月17日から21日にかけて
(社)日本ハングパラグライダー
イング連盟主催の「2007ハ
ンググライダーイング日本選手権
in石岡」が、八郷地区板敷エリ
アで開催されました。大会には
日本全国からたくさんの方
ヤーが集まり、日本一をかけて
石岡の空を舞いました。

大会期間中の天候は非常に
厳しいコンディションとなりま
したが、大会最終日は天候に恵
まれ、鬼怒川方面までの往復80
kmにもおよぶコースで競技が行
れました。



▶鳥になった瞬間



さすが日本を代表するフライ
ヤーのテクニクには驚嘆しま
す。

岐阜県から参加した女性の
パイロットは、「板敷エリアに
来るのは今回を含め5回目にな
りますが、この魅力は何とい
つてもビックフライトが期待で
きる場所ですね。今回は厳し
いコンディションでしたが、石
岡の空を十分楽しんでいきま
す」と話し、大空へと飛び出
ていきました。4月にはパラグ
ライダーのワールドカップも開
催が決定しており、スカイレジ
ヤーにおける「SHOKA」の名
は日本から世界へと大きく羽ば
たいていきます。

市内の中学校で卒業 式が行われました

3月10日、市内の中学校8校
で卒業式が行われ、807名が
卒業しました。

八郷南中学校でも、市長をは
じめ多くの来賓や保護者が見守
るなかで、47名の生徒が卒業式
を迎えました。

大山校長先生は、卒業生への
はなむけの言葉として「作家三
浦綾子さんがその著書の中で記
した『人間の一番の勉強は、困
難を乗り越えることだ』という
言葉を胸の片隅にとどめ、困難
にくじけず力強く人生に向って
いくことを願っています」との
式辞を卒業生に贈りました。



▲八郷南中学校の卒業式風景

わたしのまちの、行政相談委員さんです

平成 19 年 4 月 1 日、次の方が総務大臣から行政相談委員として委嘱されました。



小口 利夫さん (☎ 22-2689)



鈴木 幸子さん (☎ 43-0250)



惣野代 悌孝さん (☎ 26-4657)

行政相談委員は、皆様の相談相手として、行政サービスに関する苦情、行政の仕組みや手続きに関する相談などを受け付け、その解決のための助言や関係機関に対する通知などの仕事を行います。

毎日の暮らしの中で、困っていること、悩んでいることなど、気軽にご相談ください。

* 行政相談所に関する問い合わせ

市役所秘書広聴課 ☎ 23-1111 内線 210

* 行政相談委員に関する問い合わせ

総務省次城行政評価事務所行政相談課 ☎ 029-221-3347 (代)

石岡市区長自治連合会の設立総会を開催



3月26日、国民宿舎つくばねで、「石岡市区長自治連合会」の設立総会が開催されました。「石岡市区長自治連合会」は「石岡市自治会連合会」（旧石岡市地区）と「石岡市八郷地区区長連合会」（旧八郷町地区）が一本化されたもので、市全域の各区域の代表者（区長）により結成されました。なお、初代会長には、櫻井量二郎氏が就任しました。

会員の皆様が、市民と市行政機関とを結ぶパイプ役として活躍し、市民と行政との協働によるまちづくりを推進することが期待されます。

石岡市乗合いタクシーが

市内全域で運行！

4月2日、八郷商工会駐車場において、石岡市乗合いタクシー（デマンドタクシー）の開通式が行われ、市内全域を対象とした本格運行が始まりました。

電話で予約すれば自宅や指定場所へ送迎してくれるデマンドタクシーを運行する（株）まち未来いしおかの大和達郎社長は、「昨年の10月から石岡地区で試験運行を行い、3月末には利用者が1,000人を超え、今後多く方の利用が見込まれます。今回のエリア拡大により、地域交通の問題解消や元気なまちづくりにつながるよう頑張っていきたい」と力強くあいさつしました。

デマンドタクシーの本格運行により、お年寄り、子どもたちの移動手段の確保や交通空白地域の解消、さらには市民の交流がおおいに進むことが期待されます。

予約は「まちなか中継センター」 ☎ 23・5500





市長へのたより

あなたの声を市政に！

石岡市では、より多くの皆様の建設的なご提案やご意見をまちづくりに反映させたいと考えています。

日ごろ考えていること、感じたことを気軽にお寄せください。

石岡市長 横田凱夫

料金受取人払

石岡局
承認
180

差出有効期間
平成20年4月
30日まで

315-8790

石岡市石岡三一六五番地二
石岡市長
横田凱夫 行

（切手を貼らずにこのまま郵便ポストに入れて下さい。）



市長へのたより

市長へのたより

あなたの声を市政に！

- 石岡市では、より多くの皆様のご意見をお聞きして市政に反映させたいと考えています。あなたの市政全般に対するご意見やご要望、ご提案などをお寄せください。
- ご提案いただいた方の個人情報は一切公表しません。
- ご提案された内容と回答の概要については、広報紙等で公表させて頂くことがあります。

封筒のつくり方



①切り取り線に沿って紙面から切り取り、この面が外側になるように中央を折ります。

②あて先を下にして、のりしろを図のように貼り合わせます。

③切手を貼らずそのままお近くのポストへ投函してください。

市が行っている主な無料相談は

- 法律相談（毎月第1, 2, 3, 4火曜日 午後1時～午後4時 1人30分以内・要電話予約）
- 行政相談（5, 7, 9, 10, 11, 1, 3月の第2金曜日 午後1時～午後3時）
- 女性のための困りごと相談（毎週木曜日 午後1時30分～午後4時 要電話予約）
- 消費生活相談（閉庁日を除く毎日 午前10時～正午, 午後1時～午後4時30分）
- 市民相談（閉庁日を除く毎日 午前8時30分～午後5時30分）

市からのお知らせは

広報「いしおか」毎月1日号と15日号を発行しています。
 「石岡市ホームページ」随時、市政に関する情報を掲載しています。
<http://www.city.ishioka.lg.jp/>
 「石岡市メールマガジン」毎週水曜日に市政に関する情報をお届けします。
 登録方法は市ホームページから
 問い合わせ 市役所 秘書広聴課 ☎23-1111（内線212）



市の木 しい



市の花 ゆり



市の鳥 ひばり

わたしの提言

この線に沿って内側に折りたたんで下さい。

のりしろ

〒

あなたの住所

お名前 男・女 歳

職業 電話番号

※必ずご記入下さい。

のりしろ

がんばってま〜す

石岡市ボランティア連絡協議会

—— いきいきひまわり会 ——

今月は、ボランティア活動をされている「いきいきひまわり会」を紹介します。ボランティアセンターを訪問し、サークル長の諏訪部寅三さんと会員の方にお話を伺いました。



▲「いきいき3級ヘルパー研修」の終了時。この後、会を発足しました。

◆3級ヘルパー研修が始まり

「いきいきひまわり会」は、平成16年8月に市役所主催の第1回「いきいき3級ヘルパー研修」の受講者33名で発足した会です。研修最終日に「このまま分かれてしまうのが寂しいので、会員相互間の親睦を図り、時間的余裕のある人はボランティア活動をする会を作ろう」との呼びかけで、全員参加で発足したのが始まりです。

発足した当時、中学生や高校生だった会員が現在役員として活躍しています。会員は高校生・大学生・60歳以上の者ですが、一年を通じてボランティア活動をしているのは主に60歳以上の方です。高校生や大学生は、土日や夏休み、冬休みなどの休みを利用して活動しています。

その後、学んだことを活かしたいと、平成17年4月に石岡市ボランティア連絡協議会に加入し、ボランティアアグループとしての活動を始めました。

活動内容は、

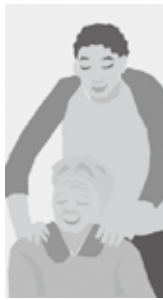
- ①地域のひとり暮らしの高齢者宅訪問活動（町内会の協力のもと月2回訪問による声かけ）
- ②社会福祉協議会関係の行事への参加と介助
- ③福祉施設などの行事への参加と介助
- ④月1回程度のふれあい交流の手伝いなどが主な活動です。

また、対外的な活動もしており、昨

年10月28日には、美浦村ボランティアサークル各代表との交流会に参加しました。情報交換、活動状況、今後の動向について活発な意見交換を行い、見聞を広げることができ、とても有意義な交流会でした。

◆高齢者は話し相手を求めている

ひとり暮らしの高齢者のお宅を訪問する活動では、相手の方がとても喜んでくれます。次に訪問する日を告げると、忘れないようにすぐにカレンダーに記しをつけてくれるんです。訪問する日も、朝から楽しみに待っていてくれます。また、お話しをしているときには、とびつきりの笑顔を見せてくれたりします。そんな時「ひとり暮らしの高齢者の方は、話し相手を求めているなあ……」と実感します。と同時に、この活動の大切さを改めて痛感させられます。訪問を待っている方がいるかぎり、この活動を続けたいと思います。



また、色々な福祉活動をしていて「ありがとう」の言葉を掛けてもらったときや、相手の方の心からの「笑顔」を見たときは「ボランティア活動をやっていて本当によかった」としみじみ思います。

高校生や大学生の会員たちは、施設などの行事に参加したり介助したりします。そんなとき、入所者の方々は、元気に働く彼らを見ながら「いてくれるだけで元気になる」といつてくれます。彼らもとてもうれしそうです。



▶高齢者のお宅を訪問している諏訪部さん（右）と小松崎さん（左）

◆より充実した会の実現を

この会は、今年の8月に4年目を迎えます。今後も活動を続けていくうえで、専門機関との連携や、個人情報の保護に関することなどの課題もあります。会員相互の親睦を大切にし、ボランティア活動とどのように調和させていくかを考えながら、より充実した会の実現に向けて飛躍したいと思います。